

9月10日：VN指数はわずかに下落

VN指数は0.06%安の888.82ポイントで取引を終えた。大型株以外が相場を押し下げる展開となった。

ホーチミン取引所のVN指数は221銘柄が上昇し179銘柄が下落した。出来高は前日から倍増し11.43兆ドンであった。

ビンホームズが相対取引で6700万株（5兆ドン）が取り引きされたことで流動性が大きく上昇した。

取引は75,000ドンで行われた。取引についてビンホームズは開示をしていない。

VN30指数は0.17%高となった。11銘柄が上昇し、9銘柄が下落した。リー冷蔵電気工業（REE）が5%高、2018年3月以来の高値に達した。

韓国の未来アセット証券が、好調な下半期決算を予想したことが材料となった。

未来アセット証券によると、同社は水力発電を成長の軸としており、発電所への投資割合を増やしている。

REEに次いで上昇したのは、ホアンファイ投資（TCH）で1.7%高となった。テクコムバンク（TCB）も1.2%高、HDバンク（HDB）は0.7%高、ビナミルク（VNM）が0.7%高となった。

その他の大型株で上昇したのは、モバイルワールド（MWG）、フーニョアンジュエリー（PNJ）、ペトロベトナムパワー（POW）でどれも0.5%高となった。

10銘柄が変わらずで引けた、ビンググループ（VIC）、ベトジェット航空（VJC）、ベティンバンク（CTG）、SSI証券（SSI）などがそれであった。

ペトロリメックス（PLX）は1.6%安、カンディエンハウス（KDH）は1%安、サコムバンク（STB）も0.9%安となった。

その他、下落したのはBIDV銀行（BID）が0.7%安、ビンホームズ（VHM）は0.6%安、サイゴンビール（SAB）は0.5%安となった。

一方、HNX 指数は 0.09% 安、UPCoM 指数は 0.32% 高となっていた。

外国人投資家は 5.05 兆ドルの買い越し、ビンホームズへの買いが貢献した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。